

筑波大学心理学研究

第 5 8 号

2 0 2 0

目 次

北本遼太・茂呂雄二：ギブ・ゲット関係の転換としての発達 F. Newman のアイディアと状況の学習論の深化	1
重村菜月・外山美樹：集団的自尊心と社会的比較志向性がネガティブな結果 フィードバック後の自尊心に及ぼす影響の検討	13
一色 翼・藤 桂：小学校教師における創造的な教育実践に関する探索的検討 ——保護者に対する教師の心理的安全性との関係に着目して——	21
吉野優香・相川 充：特性感謝・特性負債感と制御焦点理論に基づく 行動制御モードとの関連の検討	33
渡邊 寛・松井 豊・佐藤有耕：男性役割意識化エピソードとその時の 認知や感情に関する探索的検討	45
濱口佳和：能動的・反応的攻撃性と社会的情報処理による 関係性挑発場面の応答的行動への因果モデルの検証 ——青年期初期と中期の発達の差異の比較——	59
大井 瞳・望月 聡・沢宮容子：持続要因に着目した反すう研究の動向	83
佃志津子・大川一郎：がんと「折り合う」ことに関する研究	93
心理学域報告	105

編集委員会

編集委員長 加藤 克紀

編集委員 大塚 泰正
濱口 佳和
原田 悦子
山田 一夫
湯川進太郎

編集幹事 小澤 貴明
湯 立

英文校閲 テリー ジョイス

編集ならびに著作権に関する規程

1. 本誌は、筑波大学人間系心理学域（以下 心理学域）の機関誌として、原則として年1～2回発行する。
2. 本誌の編集は、心理学域内にある編集委員会の責任のもとに行われる。
3. 本誌は、原則として心理学域に所属する教員ならびに教員と連名の研究協力者の、心理学に関する論文の掲載にあてる。
4. 論文は未公開のものに限る。
5. 論文は、編集委員によって審査され、その掲載の可否が決定される。
6. 論文の原稿は、所定の執筆要項に準拠したものに限る。
7. 論文の印刷に関し、要する費用は執筆者の負担とする。
8. 本誌は筑波大学電子図書館に収録される。
9. 本誌に掲載された論文の著作権は心理学域に帰属する。ただし、内容についての責任は著者が負う。

筑波大学心理学研究 第58号

2020年2月26日 印刷

2020年2月28日 発行

編集 筑波大学心理学研究編集委員会

委員長 加藤 克紀

発行 筑波大学人間系心理学域

代表者 原田 悦子

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

電話 029(853)4597

印刷 株式会社イセブ

〒305-0005 茨城県つくば市天久保2-11-20

電話 029(851)2515

Tsukuba Psychological Research

No. 58

2020

Contents

KITAMOTO, Ryota and MORO, Yuji: Development as transformation of interconnection between giving and getting: An elaboration of situated approach based on Fred Newman's ideas	1
SHIGEMURA, Natsuki and TOYAMA, Miki: Collective self-esteem and social comparative orientation effects on self-esteem after negative outcome feedback	13
ISSHIKI, Tasuku and FUJI, Kei: Exploratory study of creativity within the daily educational practices of elementary school teachers: Focusing on the psychological safety of teachers toward parents	21
YOSHINO, Yuka and AIKAWA, Atsushi: The relations between trait gratitude, trait indebtedness, and self-regulation systems based on regulation focus theory	33
WATANABE, Yutaka, MATSUI, Yutaka and SATOH, Yuhkoh: An exploratory investigation of the perceptions and emotions when males are conscious of male roles	45
HAMAGUCHI, Yoshikazu: Examining causal relation models of proactive-reactive aggressiveness, social information-processing, and reactive behaviors within provocative situations involving ambiguous relational aggression: Comparing early and middle adolescence	59
OI, Hitomi, MOCHIZUKI, Satoshi and SAWAMIYA, Yoko: A review of rumination research that focuses on the factors of persistence	83
TSUKUDA, Shizuko and OKAWA, Ichiro: A study of cancer and expressions of reconciliation	93
News and notes	105